



# AI POWERED PRODUCTS & SERVICES

## VIDEO TRANSCRIPT

製品・サービスにおいて、機能が重視された時代から、体験価値が求められる時代へと変化してきました。

「モノの機能」だけではなく「共感すること」が求められているのです。

これまでは、買った瞬間から段々と価値が下がっていました。

そして現在は、使い続けることで、自分好みで使いやすくなり、価値が上がっていくモノが求められています。

例えば、テレビをつけると距離と環境に応じてスピーカーが音量を変えろといった、生活を幅広く一連の動作の中で、自分のためにサポートしてくれるような体験が必要なのです。

ソフトウェアアップデートにより、曲の嗜好やユーザーの位置、環境音に応じてスピーカー自身が判断し、音を最適化してくれます。

モノは変わらなくても、ユーザーの生活や使い方に応じ、モノとしての振る舞いが変わり、共感が生まれ、製品の永続的な価値向上につながります。

製品・サービスに求められる「体験価値」の具体例を見てみましょう。

職場から帰宅中のスズキさん。

クルマに乗ると、場所から自動的に判断し市街地モードに設定されます。

そして、帰宅中と判断され、いつもの空調設定、お気に入りの音楽を流してくれます。

お迎えの保育園に近づくとクルマが気候や好みに合わせて空調を設定し、乗車している人の変化に応じてオーディオや走行設定を調整してくれます。

自宅では、空調・音楽・照明の設定が引き継がれ、クルマと連続した空間のようにユーザーを迎えます。帰宅した瞬間から、心地の良い空間を作り上げます。

また必要に応じて、モバイルアプリからの操作・設定変更も可能です。

このような体験を提供するためには、製品・サービスが、ユーザーと常に接点を持ち続け、あらゆるシーンでユーザーを理解しなければなりません。

そのためには、ユーザーと繋がり続ける製品とそれを支える仕組みが必要です。

使っている間常にサポートし、ユーザー体験を向上させる一連のサービスのためには、機能は常にライブアップデートされ、主要な機能はクラウドで管理、複数の製品やサービスがつながるエコシステムが求められます。

アクセントチュアの AI Powered プロダクト&サービスは、クラウド側の課金や認証などをコントロールするサービス管理、ユーザーの利用状況や機器の稼働状況のモニタリング、エッジ側の IoT 端末コントロールなどから構成されます。

エッジからクラウドまで横断した IoT プラットフォーム、AI Powered プロダクト&サービスによって、体験価値を提供する製品・サービスをすぐに実際に試してみることができます。

ユーザーの行動を理解してその内容から提案する機能がすでに組み込まれており、また、スケールアップできることから商用を見据えたアーキテクチャを提案できるのです。

収集したデータを AI Hub プラットフォームと連携させることで、さらにサービスの最適化と効率化を実現します。

AI Powered プロダクト&サービスは、あらゆる製品とサービスを繋ぎ、より良い暮らしを提案いたします。